

2026 年度チャレンジ育英制度 (論文奨励)募集

チャレンジ育英制度論文奨励の応募を

2026年9月7日～9月25日で受け付けます。

今年度の論文テーマは、以下の5種類です。 ※詳細は別紙を参照

- ① 『文教大学への提言』
- ② 『虐待から子ども・高齢者を守るには一社会の一員として「私」にできること一』
- ③ 『東日本大震災から15年:被災地の現在と課題について』
- ④ 『カスタマーハラスメントと働く人を守る社会について』
- ⑤ 『現代社会における「コミュニケーション能力」とは何か』

文教大学生として日頃の研究活動や勉学の成果、体験した意見・抱負を論文として表現することを奨励し、採用者には、育英金(上限10万円)を給付する制度です。
少しでも興味のある方は、越谷学生課または湘南・東京あだち教育支援課HPをご確認ください!

越谷学生課 HP

湘南教育支援課 HP

東京あだち教育支援課 HP



【給付金額】

最優秀賞：10万円

優秀賞：5万円

佳作：2万円

努力賞：5千円以内

※採用数は最優秀賞～努力賞まで合わせて10件以内です。



2026年6月24日
文教大学 学生委員会

2026 年度チャレンジ育英制度(論文奨励)論文テーマ

以下①～⑤のテーマから 1 つを選択し、5,000 字程度で論述してください。 ※複数に出願は不可。

①『文教大学への提言』

標記のテーマのもと、現在文教大学に存する課題について論じてください。なお、『文教大学への提言』とは別にサブテーマを設定し、論点は 1 つに絞ってください。

【テーマの例(課題やトピック)】魅力ある大学・キャンパスづくり、キャンパス間の連携、カリキュラム改善、地域連携や貢献、学生のマナー向上、課外活動参加率の向上など

②『虐待から子ども・高齢者を守るには一社会の一員として「私」にできること』

京都府で尊い小学生の命が失われる悲しい事件が発生しました。子どもや高齢者といった社会的弱者が虐待という、想像を絶する苦しみを受け、命をも失うという悲劇が後を絶ちません。私たちに何ができるのでしょうか。虐待はとても身近な問題です。皆さんの中には、卒業後、教育や福祉に従事する人もいるでしょう。また今後、家族の介護や育児を経験することもあるでしょう。虐待とは何か。どのような場で、どのようなケースが、どの程度の件数発生し、現在どう対応されているのか、課題は何か、自身に何ができるのか、現状を具体的によく研究し、向き合って論じてください。

③『東日本大震災から 15 年:被災地の現在と課題について』

東日本大震災の発生から 15 年が経ち、被災地では復興に向けた様々な取組が行われてきました。しかし、未だに災害の爪痕が残る地域や復興が不十分な地域、復興の過程で新たな課題に直面している地域もあります。そこで、震災による被害が特に大きかった岩手県・宮城県・福島県のいずれか 1 つを事例にあげ、当該被災地における (1) 東日本大震災による被害状況、(2) 現在までの復興状況、(3) 現在抱えている課題の 3 点について調べ、詳細かつ具体的に説明してください。そして、(3) で示した課題に対する改善策を考え、その理由や実現可能性も含めて詳しく論じてください。ただし、既存の改善策を取り上げる場合はその内容を発展させた案を提示してください。

④『カスタマーハラスメントと働く人を守る社会について』

カスタマーハラスメント(カスハラ)とは、客からの暴言や理不尽な要求によって、働く人の労働環境が脅かされる問題です。2026 年 10 月には企業に対策が義務化され、アルバイトの大学生にも深く関係します。ただ、サービスの不備への指摘は利用者の正当な権利です。どこからがカスハラになるのでしょうか。本課題では、働く人の就労環境の保護と、利用者の適正な権利行使をいかに両立するかについて、あなた自身の経験、観察、または身近な人への聞き取りをもとに論じてください。その際、「正当なクレームとカスハラの違い」「職場の対応体制」「教育や社会の意識改革」など、複数の視点から考察してください。

⑤『現代社会における「コミュニケーション能力」とは何か』

現代社会では、「コミュニケーション能力」が重要だと言われています。しかし、コミュニケーション能力とは、単に話す力や伝える力だけを指すではありません。相手の意図を正確に理解する力や、異なる価値観や背景を持つ人を理解・尊重する姿勢も含まれます。また、SNS やオンライン会議ツールの普及により、コミュニケーションの手段や場も大きく変化しています。さらに、生成 AI の発展によって、人間同士のコミュニケーションに求められる能力も変わりつつあります。大学生として、これからの社会で求められるコミュニケーション能力とは何か。また、そのような能力をどのように身につけることができるかについて、自分の考えを述べてください。

***専門性を問うものではありませんが、必要に応じ、文献などを調べ、論文にまとめてください。**

- ・未発表作品に限ります。
- ・卒業年次生については研究論文-卒業論文と類似のものは認められません。
- ・新聞・雑誌・インターネット・書籍等から文章・考え・データ等をそのまま引用したり、あるいはそれらを自身の言葉でまとめて記述したりする場合は、必ず引用した出典を文中に明記し、文末に出典と対応とする引用文献リストを記載してください。引用したにもかかわらず出典を記載していない場合は、「盗作」とみなされます。